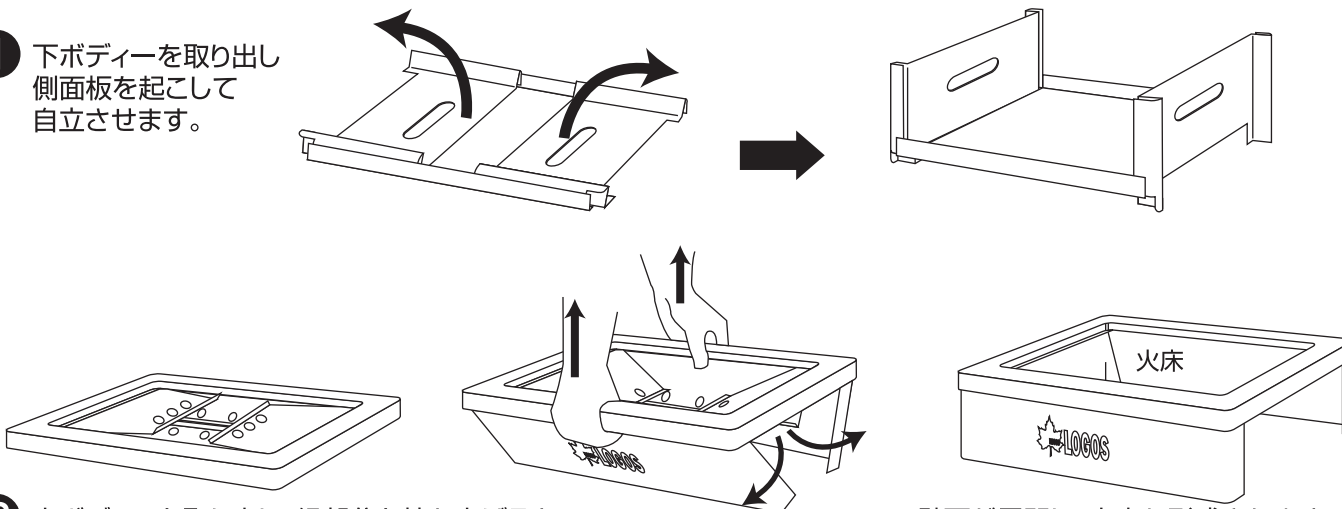


スーパーベキューブ 81063200

部品構成	上ボディ	(1)	ロストル	(1)
	下ボディ	(1)	焼き網	(1)
	ボトムプレート	(1)	キャリーバッグ	(1)

組み立て方法

1 下ボディを取り出し、側面板を起こして自立させます。



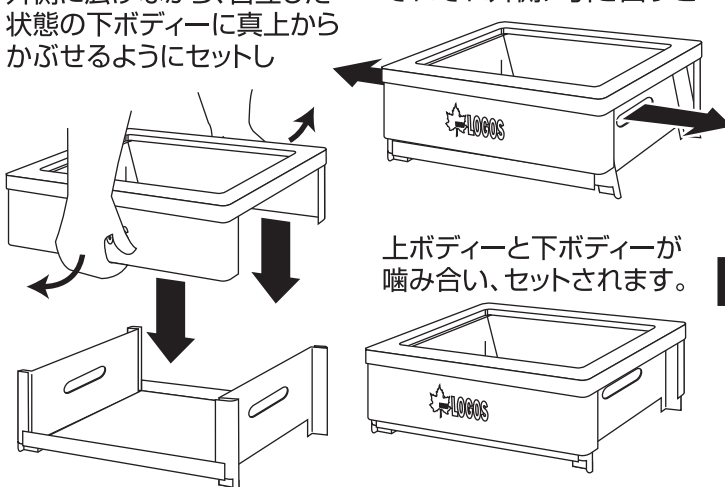
2 上ボディを取り出し、縁部分を持ち上げると…

壁面が展開し、火床も形成されます。

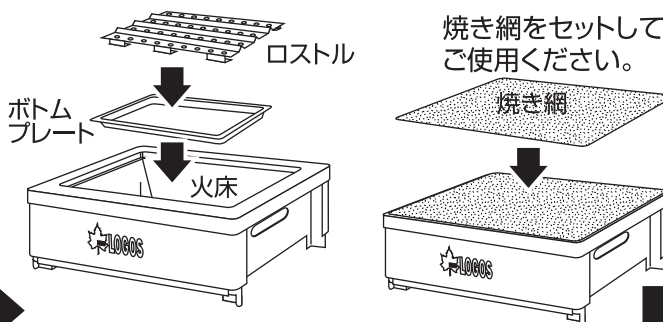
3 上ボディの壁面を持ち外側に広げながら、自立した状態の下ボディに真上からかぶせるようにセットし

左右側面板の持ち手部分をそれぞれ外側に引き出すと

上ボディと下ボディが噛み合い、セットされます。



4 火床底にボトムプレートを図の状態に置きその上からロストルをセットします



ご注意ください!

グリルを移動する際は持ち手部分を持って移動してください。その他の部分を持つと分解する恐れがあります

▲使用上の注意

- 禁止! ご使用の前に必ずパーツ類の破損、溶接外れ等が無いかご確認ください。破損が見つかった場合はご使用にならないようお願い致します。
- 禁止! 着火後にグリルの移動は行わないでください。
- 禁止! 使用中のグリルは素手で触らないでください。
- 禁止! 着火後は、炭がはぜたり火の粉などが跳ぶ場合がありますので、顔をなどを近づけたることはお止めください。また、燃えやすいものの周りでの使用もお止めください。
- 禁止! 着火剤や燃料としてガソリン、灯油、ガス、アルコールなどはご使用にならないでください。
- 禁止! 卓上でご使用になる場合はぐらつき、かたつきのないテーブル上でご使用ください。
- 警告! 卓上で使用の際は、専用テーブル (LOGOSのBBQテーブルシリーズ) をご使用下さい。専用テーブル以外のテーブルを使用する場合は、グリル下のテーブル面が熱で傷んだり変色する事があるため必ずテーブル上に断熱用としてぶ厚い木の板等を置いてから、その上にグリルを置いて使用するようしてください。
- 禁止! BBQグリルは、テント内又タープ下では使用しないでください。
- 禁止! お子様やペットを器具の周りで遊ばせないでください。
- 警告! 組み立て、分解は説明書をよく読み、正しく行ってください。組み立てが不十分だと転倒する恐れがあります。
- 警告! 分解、組み立て、着火、消火、調理、手入れ、かたづけの際には革手袋などを着用し、やけどや鋭利な部分でのケガ等に十分ご注意ください。
- 警告! 使用後の残り火の始末には十分ご注意ください。完全に燃え尽きたことを確認し、撤収の作業を行ってください。
- 警告! 消火のために器具に水をかけると急激な温度変化により器具が変形することがあります。又、高温の水蒸気が発生しヤケドの危険にもつながりますのでお止めください。
- 警告! 洗浄の際は、ゴム手袋を着用し、製品の鋭利な部分でケガをしないように十分ご注意ください。
- 注意! 塗装の施された本体は、高熱によって部分的に塗装が変色します。塗装が変色した部分は錆びやすくなりますので、市販のスチール用耐熱塗料での再塗装をお勧めします。
- 注意! 燃料の入れ過ぎは、本体の変型やひどい変色につながる恐れがあるため、必要以上は入れないでください。
- 注意! 焼き網の使用後は、食べ物のカス等をきれいに取り除き、十分に乾燥させた上で食用油を塗り、冷暗所に保管してください。
- 注意! 本品をキャリーバックに収納する際は、必ず完全に冷えた状態で行ってください。

お使いになる前に…

- 焼き網を洗浄する。●グローブを着用する。
- 1.ロストルの中心に着火剤を置き、その上に空気の通り道を作りながら炭を積み上げる。(ジェル状着火剤は、最下部の炭上に塗る。ジェル状着火剤は非常に危険、継ぎ足しは厳禁。またジェルが地面に溢れていない状態で、必ず点火する事)
- 2.柄の長いライター等で着火剤に着火する。
- 3.内輪等で風を送り込む。(強風厳禁)
- 4.全ての炭が着火状態なのを確認した後、ロストル上にまんべんなく広げる。所々炭が二重に重なるぐらいが適量です。
- 5.鉄板が付属している商品は、鉄板使用時には少量の炭にし、鉄板の空焼きを防止してください。
- 6.備長炭の着火は、着火状態の木炭の上に置いて着火してください。
- 本品対応の焼き網
品番81063201 BBQ焼き網タイプM